



Bridge

—かけ橋—

NPO法人たはら国際交流協会広報誌

第85号

〒441-3421 愛知県田原市田原町汐見5 田原文化会館内
 TEL.<0531>22-2622 F A X.<0531>22-2625
 Email: info@tahara-tia.jp

文房具のご協力ありがとうございました!

昨年、市民の皆さんにご協力いただき、たくさんの文房具が集まりました。
 これらの文房具は、市民海外派遣団の手を借りてラオスの子供たちに直接届けられ、
 そのお返しにたくさんの笑顔をもらいました。



ノート185冊 えんぴつ・ペン4666本 その他99点



持参した文房具を手渡しました



ナサラ小学校と子供たち



授業を受ける子供たち

第6回国際理解講座

－2013年11月24日(日)9時30分～12時 田原文化会館－

田原で暮らしている外国人によるスピーチコンテストと、愛知万博以来フレンドシップ国として交流が続いているラオスへの第22回市民海外派遣事業の報告会が行われました。

スピーチコンテストでは7名(中国5名、ベトナム1名、フィリピン1名)が出場し、日本語を理解するまでに苦労したことさまざまなエピソードや思いなど、どのスピーチもメッセージが伝わってくる、すてきなスピーチでした。

審査結果は次のとおりです。

理事長賞	金子 正生	敢闘賞	陳 寧
事務局長賞	李文 慧	〃	チャンティゴックカム
日本語教室賞	陳 枕 菁	〃	朱 麗 紅
審査員特別賞	田中ジュビー		



出場者のみなさん



ラオスでの出来事を報告

後半は10月に市民海外派遣に参加された方々による報告会で、参加者が体験したラオスでの出来事を報告してくれました。その後、短い時間ではありましたが、参加者全員で茶話会をもうけ、ラオスでのたくさんの写真とともに楽しいひとときを過ごしました。

なお、今回はヴィエンチャンのサイタニー郡にある田原市が整備した教育事務所や山本氏(田原市殿町在住)が整備した学校を訪問し、田原市民に協力いただいて集めた鉛筆、消しゴム、ボールペン、ノートなどを届けました。

第4回東三河日本語スピーチコンテスト

－2014年1月26日(日) 13時30分～16時 新城市富岡ふるさと会館－

豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市、新城市に在住の外国人による「日本語スピーチコンテスト」が開催されました。田原市からは、李文慧さん(中国出身・技能実習生)と陳沈菁さん(中国出身・技能実習生)が出場しました。小中学校の部では、6ヵ国12名が、高校生以上の部では6ヵ国10名が出場し、それぞれの日本での体験や感じたことを熱く語りました。最優秀賞は、豊橋市磯辺小3年のハック・アデアさん(バングラデシュ出身「わたしのふるさと豊橋」)と、主婦でTIAにも縁のあるヤパ・アサンギさん(スリランカ出身「私が出会った日本」)の2名が受賞しました。

来年の「第5回東三河日本語スピーチコンテスト」は田原市で開催される予定です。外国出身の方は、コンテストに出場し、日頃感じていること、思っていることを語ってみませんか。



異文化
交流会

天野庵代表による手打ちうどん交流会Part II

－2013年12月7日(土) 10時～14時 衣笠市民館－

寒さが身にしみてそろそろ温かい食べ物の出番が多くなっていく頃、天野庵代表こと前天野事務局長を講師に招き、第2回となる「手打ちうどん交流会」を開催しました。事務局内では周知の事実となっている前天野事務局長直伝の「手打ちうどん」の極意を改めて披露、伝授してもらいました。

今回も、会員だけでなく、一般の方や豊橋技術科学大学に通う留学生も含め、総勢25名の参加がありました。天野講師が手つきも鮮やかに一通りの説明を終えると、参加者の皆さんは戸惑いながらも見よう見まねで作業を進めていきました。粉を混ぜる人、こねる人、まとまった生地をビニール袋に入れて足で踏む人、できた生地を台の上で伸ばす人、そして最後に包丁で切る人。とても楽しそうに作業が進みました。

出来上がったうどんは早速茹で上げて、用意したつゆとたくさん種類の薬味でいただきました。しばらくおいしいうどんに舌鼓を打ちながら、参加者全員の自己紹介をし、交流のひと時を過ごしました。



美味しい「うどん」が出来るかな



できあがった「うどん」

年末恒例 クリスマス会

－2013年12月14日(土) 18時～20時 中部市民館－

今年は昨年を上回る参加人数で、事前申し込み者数は大人142名、子供38名と多数であったため、受付で名簿を確認する作業に手間取り、会場前は一時長蛇の列ができる盛況ぶりでした。

オープニングでは、山下理事長のあいさつに続いて、西川文志穂さんによる日本舞踊が披露されました。パーティーに参加した外国人だけでなく日本人にとっても、間近で日本舞踊を鑑賞ができる貴重なひとときとなりました。また、パーティーの終盤では、にほんご教室のスタッフ、受講者有志による「恋するフォーチュンクッキー」のパフォーマンスで会場は大いに盛り上がりました。会場のステージに上がったメンバーは、事前のダンスレッスンで準備も万全。その楽しげな踊りと軽快なリズムに観客も引き込まれ、会場のあちこちでも踊っている姿が見受けられました。



「恋するフォーチュンクッキー」を踊りました



各国の料理に舌づつみ

当国際交流協会のクリスマス会の魅力と言え、なんととってもアットホームで、気取らない手作りパーティーというところです。料理は、飲食店からお取り寄せしたオードブルのほかに、市内在住の外国人の協力による外国料理、料理が得意な会員によるちらし寿司やおでんなどの日本料理、さらにケーキやドーナツなどのスイーツがテーブルに並びます。たくさん用意された料理の中には、日本人が作ったタイ風グリーンカレーやベトナム風生春巻きなんていう物もあり、「さすが本場の味！」なんて、まんまとだまされちゃった参加者もいたかもしれません。

いっぱい食べて、いっぱい踊って2013年を締めくくる楽しい行事となりました。

ジョージタウンより



アメリカの分りにくい健康保険制度

正社員として雇用されていないと病院に行けない、そんな生活を考えたことがありますか？日本には国民健康保険という制度があり、自由業者、学生、失業中でも、また所得に関わらず、健康保険に加入し、基本的に自分で医師や病院を選んで治療を受けることができます。でもそれは世界どこでも当たり前ではなく、アメリカでは保険非加入者が2012年の調査によると人口の15.6%（保険に入れない不法移民は含まないので実際はもっと多い）です。結構低い数字と思いますが政府負担の保険加入者の割合が32.2%なので、47.8%が自分の保険料を払えないのが現実です。また、19歳から25歳の若者層の非加入率が上昇しているのも問題となっています。

暮らしてみても驚いたのが、正社員として採用されても勤務初日から保険が使えるわけではなく、一般的に30日の待ち時間があります。理由はわかりませんが、この間病気になるような気をつけないといけないと考えました。企業や団体は独自に民間保険会社と契約し、内容も、保険料も会社によって異なるので、「良い保険を提供する会社」とか「うちの会社の保険はよくない」という話になるのです。加えて、自分の会社の契約した保険会社から複数の異なる保険プランが提示され、自己負担保険料額(家族形態とプランによって異なります)や保険がカバーする割合などを比べて、自分の状況に一番合ったものを選びます。一言で言えば、極めて複雑で、分りにくい制度です。私もずいぶん勉強して理解できるようになりました。どうしてここまで複雑にしてしまうのか？日本の保険制度に慣れている私には理解を超えています。でも、よく理解しないと自分の身に跳ね返ってくることなので、大事です。また保険の見直しが毎年あるので、一年に一回更新手続きがあります。一般的に毎年保険料が上がるか、保険料が上がらない場合は自己直接負担額が上がります。

じゃあ保険に入っていないとどうなるの？ということですが、治療を受ける費用が高額になります。全額自己負担になるだけでなく、治療費も割高なのです。例を挙げると、ひどく風邪を引いて私の主治医に診てもらおうとしましょう。英語でオフィスビジットと言いますが、保険がないと99ドル自己負担です。保険があると同じサービスが保険会社割引で77ドルになり、私のプランだと自己負担額は11ドルで残りは保険会社が支払います。これくらいならまだ良いのですが、以前受けた年齢ベースの定期健診の腸内視鏡検査は無料で受けられました。明細を見ると約5,000ドル、とても自己負担で受けられる金額ではないと驚きました。

ですから、アフォーダブル・ケア・アクト(オバマケア)が導入されることは本当に素晴らしいことなのです。続きは次回へ。

ジョージタウン在住 クーパー・由紀

- ※データは以下のCNNウェブサイトより抜粋
<http://money.cnn.com/2012/09/12/news/economy/census-bureau-health-insurance/index.html>
- ※アフォーダブル・ケア・アクト(オバマケア)
オバマ大統領が推進したアメリカの医療保険制度を改革する法律

編集後記

世界中で極寒や酷暑など、異常な気候が続いています。ここ渥美半島は異常ではありませんが、住んでいる人間が寒さに弱く、かという私めも「寒い」という言葉をどれだけ発したことが…。 “は～るよ来い。は～やく来い” 土筆、オタマジャクシ、紋白蝶。早く会いた～い!! 数ヵ月後には “暑い!” と叫んでいるとは思いますが。(m)

田原政経文化研究懇話会



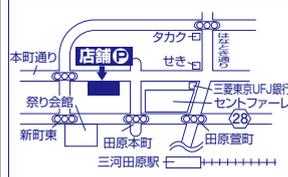
無料体験随時実施

毎月1回講演会 22-0313 (タカサキ新聞内)
18:00~20:00 会費 月5,000円(食事付)

一志堂 石川印舗

●実印 ●認印 ●法人印 ●ゴム印 ●表札 ●名札

営業時間 AM8:00~PM7:30
田原市田原町本町48(本町通り)



☎(0531)22-0437
FAX(0531)22-6519